

# 次丸地区

## 地域計画 課題と将来の方向性 ダイジェスト版

【次丸地区的農用地等面積】 139.8ha

うち 【田】 104 ha 【畠】 35.7 ha

(農業振興地域のうち農用地区域内の農地面積 128.6 ha)

- 今後農業を担う者が引き受ける意向のある農地面積 合計 13.6ha
- 次丸地区における 75 才以上の農業者の農地面積 合計 22.9 ha
- 主な生産品目：水稻、大豆、トマト、飼料作物、花卉など

(令和7年8月 26 日現在)

### 地域農業の課題

#### 【農業者の高齢化と労力不足】

- 法人、営農組織、認定農業者、個人経営者において深刻化

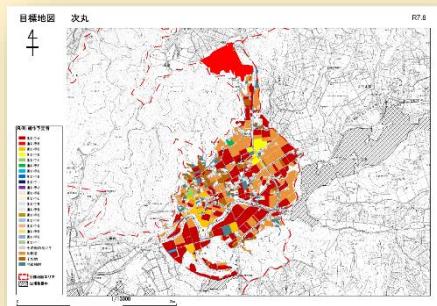
#### 【農地の維持・管理問題】

- 耕作放棄地の発生懸念(基盤整備が行われない農地)
- 農地の引き受け困難化
  - 基盤整備済農地でも、法人構成員の高齢化や従業員不足により

#### 【農業経営の経済的問題】

- 農業所得の低下
  - 農畜産物価格低迷と生産費上昇
- 農業の衰退懸念
  - 再生産価格が確保できていない状況から

次丸地区的目標地図



地域計画は、奥州市内 45 地区で策定をしました。

地域計画は、地域の実情に合わせた取り組みを進めるため、地域の話し合いで出し合った「課題」や「今後の方向性」を取りまとめたものです。また、農地一筆ごとに 10 年後の耕作者を取りまとめた「目標地図」も作成されています。

このダイジェスト版は、地域農業の「課題」や「今後の方向性」を抜粋して作成したものです。

地域の現状は毎年変化していくものですので、年に1回程度、地域の皆さんで「課題はありますか?」、「困り事はありますか?」、「やってみたい農業はありますか?」など、話し合ってみてはいかがでしょう。

## 地域農業の方向性

- 【生産・営農構造の強化】
  - 複合経営の推進
    - 特別栽培米を主軸に、転作作物(大豆、高収益野菜、花卉、飼料作物等)
  - 日本型直接支払制度の継続
    - 持続的な農地活用
  - 農業法人等による耕作継続
    - 高齢化で耕作困難な基盤整備完了農地
- 【農地利用の最適化】
  - 農地の集積・集約化の推進
    - 農地中間管理機構を通じた賃借
  - 農地中間管理機構の活用
    - 個別で管理困難な農地の段階的貸付
  - 基盤整備除外農地の環境整備
    - 有害鳥獣緩衝地として草刈り等を実施
- 【人材の確保・育成】
  - 多様な経営体(働き手、認定農業者、新規就農者)の確保・育成
    - 関係機関と協議し、栽培技術の継承
- 【環境・生産基盤の保全】
  - 鳥獣被害防止対策の実施
    - 電気柵・防護柵設置、被害状況共有、有害鳥獣駆除・捕獲人材育成
  - 有機農業・減農薬の推進
    - 畜産農家やJA大地活力センターと連携
  - 農地・農道等の保全管理
    - 中山間地域等直接支払交付金等の事業を活用

このダイジェスト版を「地域の話し合いを使いたい」「振興会に配りたい」などのご要望がありましたら、印刷してお渡しすることもできますので、下記までご連絡ください。

また、目標地図や他の地域計画は、奥州市ホームページに掲載しています。

※個人情報に該当する部分は掲載していません

### ■掲載ページ URL

<https://www.city.oshu.iwate.jp/soshiki/7/1057/2/chiikikeikaku/17284.html>

#### ▶ 市ホームページでの検索方法

奥州市ホームページ→「情報を探す」→「ページ ID を入力」の入力欄→「17284」を入力→検索

▶ スマホやタブレットなどで下記QRコードを読み込む



■問い合わせ…奥州市農政課人農地プラン推進室 (TEL 0197-34-2371)

